

# 令和5年度予算編成の基本的な考え方

## 1 現状の分析

- 市税収入は、5年連続で約100億円と安定して推移している
- 今後見込まれる財政需要に向け、**基金の積立**も順調に進んでいる
  - ◇ 令和2年度 令和3年度  
財政調整基金（標準財政規模の10.25% → 12.80% 県内市平均15.23%を若干下回る）
  - ◇ 公共施設保全基金（公共施設の再編・大規模改修に向けて積立）
  - ◇ 都市施設整備基金（都市計画道路、藤金土地地区画整理関連事業などに向けて積立）
- 骨太の方針では、令和3年度地方財政計画と同水準の**地方一般財源総額が確保**される見込み
- ▲ 社会経済情勢の変化による**物価高騰**については、注意が必要

現状の安定した財政状況の分析の下、  
社会経済情勢に柔軟に対応しつつ、  
第6次総合計画を力強く推し進める

## 2 予算編成に掲げる3つの柱

**躍進**

**第6次総合計画の推進**

前期基本計画の4年目として  
着実な事業の推進

**支援の継続**

**市民の健康と暮らしを守る**

第6次総合計画では想定していない突発的な事象に対する緊急支援の継続

**構造の転換**

**社会情勢の変化に合わせた  
構造の転換**

デジタル化、脱炭素化など社会情勢の変化に合わせた構造の転換

しあわせ共感 安心のまち つるがしま